

令和6年度第1回丹波篠山市総合教育会議 議事録

1 日 時

令和6年12月16日（金） 16時40分～17時37分

2 場 所

丹波篠山市役所第2庁舎 3階 2-301, 302 会議室

3 会議に出席した構成員

市 長	酒井 隆明
教育委員会	
教 育 長	丹後 政俊
教育委員	西田 正志
教育委員	鈴木 友美
教育委員	吉良 佳晃
教育委員	倉 真智子

4 事務局出席者

学校教育部	部長	酒井 寛興
こども未来部	部長	田中 正典
社会教育部	部長	小林 康弘
教育総務課	課長	山内 俊秀
教育総務課	主査	北尾 真理奈

5 次第及び協議事項

別紙の通り

酒井市長	<p>1 開会</p> <p>皆さんこんにちは。皆様には平素から丹波篠山の教育のために、大変熱心に取り組みいただきましてありがとうございます。</p> <p>市内3高校のあり方検討については、教育委員会事務局を通じて報告させていただいていたが、ようやく考え方がまとまりましたので、皆様にお示しし、ご了承いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
酒井市長	<p>2 協議事項</p> <p>(1) 市内3高校のあり方について</p> <p>市民、関係者の声を意見書としてまとめた。資料について、総務課より報告願う。</p>
河南次長、森田副課長	<p>●資料に基づき説明</p>
西田委員	<p style="text-align: center;">＜主な質疑応答＞</p> <p>意見書の中で「～通級制による指導を充実～」と記述があるが、ここでは「～通級による指導～」で良いと思う。</p>
酒井市長	<p>修正する。</p>
西田委員	<p>ヒアリングを受けた時にも意見したが、最終的には最も大事なのは魅力ある学校づくりであると思う。なお、最も尊重すべき時期の児童生徒の保護者の意見がこれだけ分かれていることから、この取りまとめ方で仕方ないと今は思っている。</p>
酒井市長	<p>ここまでしか、まとめることができなかつたのが実情である。</p>
西田委員	<p>今後、県がすることであると思うが、統合していくこととなった場合、募集はいつまで続くのか等の年次的な流れがきちんと保護者に伝わっていないことを危惧する。すぐに募集停止にはならないこと等、誤解のないような周知をお願いしたい。</p>
丹後教育長	<p>全県的な計画であるからと他市町では取り組んでいないことをテーマに、これまでも市長と一緒に色々な機会で見聞を聞き、議論を積み上げてきたことは無駄ではなかつたと思っている。それを今後を生かすという視点で県に要望していくことは非常に意味があると思っている。高校は県の所管であり、市は要望していくしかなく、県がどこまで聞いてくれるかは色々な制約もある中、難しい部分もあるが、市民の想いをしっかりと伝えていきたいと思っている。</p>
酒井市長	<p>昨年度から数多くの説明、意見聴取を行ってきたが、なかなか若い方の参加が少なかつたとともに、保護者アンケートの回収率も低い結果となったが、色々な機会を通して説明してきたことについては胸を張っている。ただ、県の発展的統合という方針の中において、現時点で特に鳳鳴高校と</p>

<p>西田委員 事務局</p>	<p>東雲高校が定員割れを起こしており、歯止めがかからない。そうした危機感を持っている方とそうではない方の差が顕著であると感じた。将来的にも子どもの数が減り続けていくことを考えると、統合という道を選ぶしかないと思うが、それでもは三校を一校にすることは認められないという方もいる。相当数の方が2校を選ばれていることから、今回のまとめ方しかなかったが、それでもこれが市民の意見であり、良かったと思っている。今回、出た色々な意見を要望としてもあげるとともに、2校とした場合においても、勉強も部活動もきちんとできる体制をつくってもらわなければいけないことを求めていると思っている。</p> <p>来年の進路希望の状況は。</p> <p>鳳鳴高校の普通科は定員120名に対し81名、STEAM探究科は定員40名に対し24名、産業高校が農と食科は定員40名に対し30名、機械工学科は定員40名に対し41名、電気建設工学科は定員40名に対し33名、総合ビジネス科は定員40名に対し29名、東雲高校は定員40名に対し16名となっている。</p>
<p>酒井市長</p>	<p>やはり厳しい状況である。先日、西紀中学校を訪問した際に進路希望を聞いたが、市内高校の希望者は少なかった。以前は、西紀中学校のほとんどが市内高校へ進学していたと記憶しているが、先生に聞くと、近年は進路選択は多様であり、バラバラであると聞いた。やはり選んでもらえる学校にならないといけないと思う。</p>
<p>吉良委員</p>	<p>本当に色々な意見が出ており、全ての意見が出尽くしたかと思う。このアンケート結果からは、これから成長していく子どもたちの保護者の回答数は少ないが2校の意見が多い一方で、保護者より年齢が上の世代の大人は1校に集約されているように見受けられる。ある意味ゼロベースで、例えば地域が良くなるために高校が必要等、考え方の視点を変えれば、また違う議論になったのかもしれないと思う。</p>
<p>酒井市長</p>	<p>活気がないと感じられている市民も多数おり、どの場合においても、高校の関係者には充実した学校に向け努力いただく必要があると思う。</p>
<p>西田委員</p>	<p>先日、鳳鳴高校の同窓会を実施した。315人の卒業生のうち115人と多くの参加があったが、その背景の一つとしては、今の鳳鳴高校の現状も気になることもあったのかと感じた。全員が賛同してくれた寄附金を代表者が学校へ贈呈する際に、とにかく魅力ある学校をつくってほしいとお願いし、高校側も前向きに受け入れてくださったと聞いている。皆が現状には危機感を持っているとともに、将来的にはさらに子どもの数が減ることは分かっており、しっかりとあり方を考えていく必要があると思っている。</p>
<p>吉良委員</p>	<p>今年、子どもが中学3年生で進路を選択する時期となる中、オープンハイスクールへ参加していたが、南は西宮から北は丹波市まで、色々な学校を見てきた。当然ながら、人がいっぱい集まっているところは活気があるように見えるとともに、進学実績がある学校に人が自然と集まる中、もし少人</p>

	<p>数で特色を出すのであれば、やはり地域の関係性、地域との距離が鍵となるように思う。そうした中、丹波篠山市の高校で地域の出し方を考えた時、単に地域体験ができるだけではなく、もっと深く掘っていかなければ特色にはならないと思う。例えば、高校をどうするかの前に、この地域でどんな問題があり、そのためにはどのような人材を育てるべきかと逆算する中で方法を考える程度の議論からスタートしても良いのではないかと思う。今回、高校の在り方を考えるにあたって、多くの地域の方が参加したことは意義があることであり、教育とはズレるが、高校の在り方の前に地域づくりを考えるきっかけになったのではないかと感じた。</p>
西田委員	<p>STEAM 探究科で育てる人材が見えてくるのは、最短でも 3 年後であり、結果がすぐに出ないことがもどかしくもある。地域の子どもも鳳鳴高校に進学し、部活動含め頑張っているが一般的には見えにくいのが残念である。</p>
鈴木委員	<p>私は丹波篠山市出身ではないので、市内高校の魅力等の視点が分からないところもあるが、自分が高校受験をする時に伝統ある高校と設立 15 年程度の新しい高校ですごく迷った経験がある。学力的には同じぐらいで、親は伝統ある高校に行つて欲しかったようであるが、私は最終的には新しい高校を選んだ。決め手の一つとしては、やはり通学の利便性であり、新しい高校は自転車で行けるが、伝統ある高校は電車を乗り継ぎ時間がかかることがあった。また、伝統ある高校は定員割れはしていなかったが、新しい高校はすごく倍率が高く、人気があつて良いと思つてしまったところがあった。また、安易な考えではあるが、新しい高校は制服が可愛いかった。話を戻すが、2 校にしても 1 校にしても、かなり特色、魅力ある高校をつくり、市外からも呼び込まないと定員確保は難しいと思う。市内の進学率も大切な一方で、市外から呼び込むことも考えていく必要があると思う。そうした中で、高校を選ぶのは親ではなくて今の中学生であることを踏まえ、今の中学生より下の子どもたちが何に魅力を持つのかということに興味がある。</p>
倉委員	<p>我々が思う伝統があるといったようなことよりも、やはり今の若い人の傾向を見ていると、制服が可愛いといったような華やかさや活気がある、学校帰りに遊べる等のようなことを重視しているような気がする。新しい感覚を落とし込んでいかなければ、単に 2 校になっただけでは子どもたちに魅力が伝わらない可能性もあると思う。ただ、私が住んでいる東部地域は通学の利便性からが選択肢は市内となるのが実情ではある。</p>
丹後教育長	<p>市内高校の生徒たちに聞くと、高校生活を楽しんでいるとともに満足しているとの声が多い。学校満足度は大きな要素であり、そこをうまく PR していければと思う。</p>
酒井市長	<p>伝統があるからだけでは難しいということは共有できたと思う。近年、有馬高校の人気があがっているが、校長先生を中心に先生一人一人が熱心に取り組まれた成果と聞いている。やはり、高校関係者にもしっかりと力</p>

丹後教育長	<p>を入れて取り組んでいただく必要があると思う。そうしたことも踏まえ、将来的には1校を目指すことを視野に入れながらも、当面は2校で充実を図っていただきたいと要望していく。</p> <p>色々な意見を出していただいたが、教育委員会として特に異論はないように思いましたので、本日示したような形でまとめ、今後、議員や在り方検討会へ説明し、年明けには県に要望していきたいと思うので、ご理解をお願いします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
-------	--